

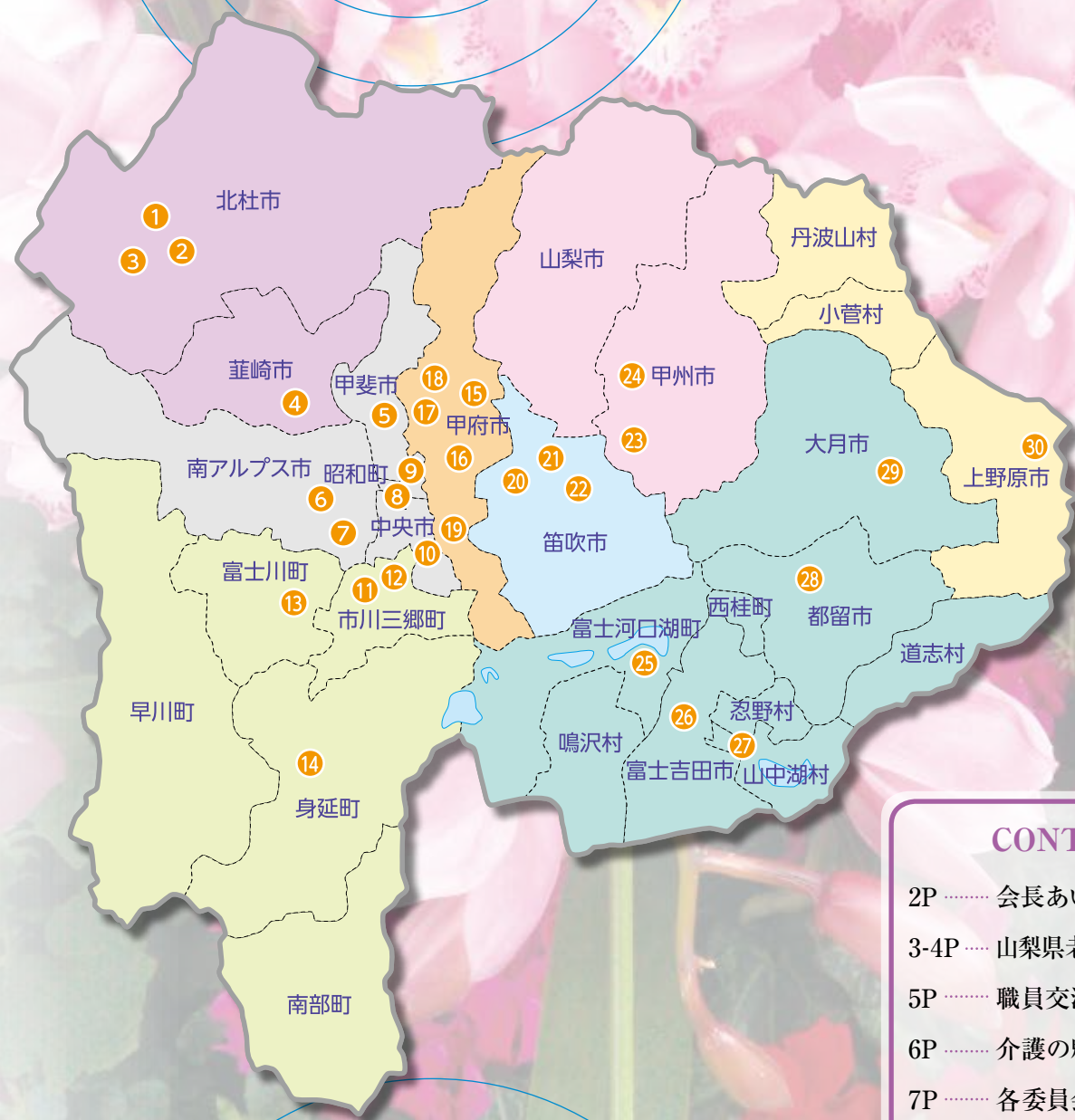
YAMANASHI

2026.1

Vol.58

山梨県老人保健施設協議会広報誌

ろけん



CONTENTS

- 2P 会長あいさつ
- 3-4P 山梨県老人保健施設大会
- 5P 職員交流ボウリング大会
- 6P 介護の魅力発信
- 7P 各委員会よりお知らせ
- 裏表紙 山梨県介護老人保健施設一覧

2026 Greeting of a new year

～素晴らしい老人介護の世界を守るために～

山梨老健の皆さま、あけましておめでとうございます。皆さまの温かく献身的な頑張りのおかげで、日本の超高齢化社会はなんとか守られています。でも頑張りにも限界が見えてきているのも事実です・・・

私は大学病院の外科医から老健の医者に転向して、気が付けば23年の月日が経ちました。困っているヒトの生活の役に立てる老健の仕事は、尊くて遣り甲斐があるといつも感じています。大病を患い生死の境を彷徨った高齢者が、懸命なりハビリと温かいケアで元気を取り戻し自宅に帰る時の笑顔。その横で安堵されているご家族のホッとした顔。長い人生を全力で生き切って、その寿命を終えられた方の安らかな顔。そんな顔を観ることは、私の老健の医者としてのモチベーションに繋がっています。老健で働かれている皆さまも、同じような感覚を持たれているのではないのでしょうか。

ヒトの人生に深く関わらせて頂ける素晴らしい老人介護の仕事ですが、老健を取り巻く環境は年々悪化しています。物価は毎年上がり続け、日本の多くの職種で大幅な賃上げが続いているのに、老健の収益の大元になっている介護報酬はなかなかアップしません。

そんな厳しい状況下ですが、老健職員の賃上げに関して一筋の光が見えてきました。次年度の国家予算配分の大筋を決める＜骨太方針＞と云うものがあります。これは閣議決定されて公に発表されたものですが、2026年の国家予算の基本方針になる＜骨太方針2025＞に、介護施設に関して「介護従事者（介護施設で働く全職種の職員）の、他職種と比較して遜色のない賃上げを行う」と云う内容が明確に記載されました。今まで社会保障分野に関して、このようなことが記載されたことはありませんでした。

高市早苗新内閣発足後の11月に介護12団体が集まって、私の司会進行で記者会見が行われました。この記者会見では全国の様々な介護施設で行われた“賃上げ”に関する調査の、極めて厳しい結果が発表されました。そしてこのままでは介護施設で働くヒトは居なくなってしまう、介護施設を運営することは出来なくなってしまう、＜骨太方針2025＞は絶対に実現して欲しい、と云う介護団体からの強いメッセージが多くのメディアに掲載されました。

介護施設職員の収入は、国が（政府および財務省）決めているのです。私たち老健は一致団結して、更には他の介護団体とも力を合わせて、政府の動向を見守りましょう。見守るだけではダメです。強く訴えかけて国を動かしましょう。私たちが大切にしている素晴らしい老人介護の世界を守るために。



山梨県老人保健施設協議会 会長

福田 六花

第28回 山梨県老人保健施設大会

はじめに

令和7年10月15日(水)、アピオ甲府タワー館において『第28回山梨県介護老人保健施設大会～やるじゃん山梨!! 介護で明るい未来の扉を開けよう～』が開催され、県内22施設より29演題のすばらしい発表がありました!

福田会長 挨拶

山梨老健の皆さま毎日オツカレサマです。第28回山梨県介護老人保健施設大会を開催出来る事を、大変に嬉しく思います。そして皆さまの温かく献身的な頑張りのおかげで、山梨県の老人介護が守られていることを深く感謝致します。今年は22施設から29演題の発表があり大変嬉しく思います。山梨から日本の高齢者介護の素晴らしい未来を創りあげていきましょう。



老健大会 記念講演

老健大会記念講演では、トレイルランナーの鍋木毅様より「160km山岳マラソンから学ぶ 逆境こそ人生の原動力」と題して講演をいただき、参加した皆様からは介護の魅力を発信し続けて、前向きに力強く山梨の高齢者介護を盛り上げていきたい等多くの声寄せられ、大変有意義な時間を過ごすことができました。



演題発表紹介

セクション① (10:40～11:50) 座長: 笹尾信介 (山梨ライフケアホーム/支援相談員)			
No.	開始時間	発表者	演題
1	10:40	ふじ苑 看護師 小林まゆみ	介護老人保健施設における身体拘束について考える ～多職種を対象としたアンケート結果から～
2	10:50	甲府かわせみ苑 介護支援専門員 小宮山元	「気が付く」「気が利く」「気が回る」 気配り三原則から事故予防へ
3	11:00	峡南ケアホームいいとみ 介護福祉士 渡辺博信	安心してください、知ってますよ!! ～プロフィールシートを活用して～
4	11:10	あさひホーム 理学療法士 功刀庸至	無いものを形に!! リエイブルメント導入 ～フレイルのクリーニング 選択の自由～
5	11:20	NAC湯村 介護支援専門員 堀内貴弘	介護の力で、笑顔の未来をつなぐ SDGsの取り組みを通じた未来への挑戦
6	11:30	ノイエス 支援相談員 河野真広	独立型老健の超強化型への軌跡! その達成過程と継続戦略
7	11:40	峡西老人保健センター 支援相談員 望月貴子	超強化型への挑戦 在宅復帰の理解 このままではダメだ! 変わらなければ!

セクション① (10:40～11:50) 座長: 河西良太 (峡北シルバーケアホーム/介護)			
No.	開始時間	発表者	演題
1	10:40	フルリールむかわ 介護福祉士 ニンユウエイ	挑戦と絆が育んだ7年の軌跡 技能実習生から介護福祉士、そして指導者への道
2	10:50	勝沼ナーシングセンター 介護福祉士 平川智一	嚥下体操、仲間と明るく楽しく元気に 音楽を取り入れた体操でみんなで踊ろう
3	11:00	甲州ケア・ホーム 山崎誠一郎	みんなで過ごす楽しい時間。 ～業務改善を行いレクの充実化を図る～
4	11:10	山梨ライフケア・ホーム 通所リハビリ 伊藤誠二	園芸療法がもたらす効果 野菜作りに奮闘中!!
5	11:20	フルリール甲府 介護福祉士 田中伸佳	入浴支援プロセスRe Make ～フロア内完結型の新しい挑戦～
6	11:30	ケアセンターいちかわ 介護福祉士 保坂 瞳	優しい嘘 嘘は必ずしも悪いとは限らない...と思いたい
7	11:40	ノイエス 事務長 樋口一也	老健に「ミニ錦鯉」がやってきた! ～慈しみと癒しの伝道師たち～

セクション② (13:10～14:20) 座長: 大西健太 (フルリールむかわ/理学療法士)			
No.	開始時間	発表者	演題
1	13:10	峡西老人保健センター リハビリテーショングループ主任 須賀美保	超強化型の現状と課題 リハビリテーションスタッフから見た理想と現状
2	13:20	ノイエス 理学療法士 武井直哉	地域とつながる老健のチャレンジ! 施設イベントで広がる地域参加の輪
3	13:30	つる 作業療法士 森嶋雅史	高齢者がより快適な生活をするために 車椅子改造プロジェクト委員会2年間の取り組み
4	13:40	NAC湯村 作業療法士 原田直輝	わたし... また歩けるかしら? ～超高齢利用者に対する骨折初期からの挑戦～
5	13:50	峡北シルバーケアホーム 理学療法士 竹中 悠	あらゆる人を巻き込むリハビリテーション 「信念を信頼に変える」10年間
6	14:00	ひばり苑 言語聴覚士 長阪佳奈	失語症者向け意思疎通支援者派遣事業、 ご存知ですか? ～訪問リハビリの利用事例を通じて～
7	14:20	玉穂ケアセンター 作業療法士 野中悠記	通所リハの磨き上げ 小さなことからコツコツと...

セクション② (13:10～14:30) 座長: 小林和美 (勝沼ナーシングセンター/管理栄養士)			
No.	開始時間	発表者	演題
1	13:10	甲府相川ケアセンター 中島和浩	摂食機能に基づいた個性に合わせた摂食姿勢 の重要性について ～Mさんの事例を通して～
2	13:20	白樺荘 小宮山久美子	「食べる楽しみ」をふたたび～まんじゅう食べたいな～ 歯科医の協力を得てPEGから経口摂取へ
3	13:30	はなます 看護師 井出絵里	褥瘡・ポジショニング委員会の再構築 専門的意見の結集
4	13:40	ノイエス 看護師長 小澤真寿美	老健で薬を減らし、眠剤を無くそう! きつといい事あるかも?
5	13:50	フルリール甲府 言語聴覚士 生亀宜子	私なりに考える老健での言語聴覚士の役割と重要性 ～臨床経験3年目から振り返る～
6	14:00	恵信塩山ケアセンター 理学療法士 飯田卓弥	多職種と連携し、認知症ケアについて考える 趣味からその人らしさを
7	14:10	フルリールむかわ 理学療法士 深沢 周	暮らしを支えるプロフェッショナル達 ～訪問リハが繋ぐ、超強化型老健の最前線～
8	14:20	しおかほ福寿の里 理学療法士 野中伊玖磨	デジタルなモノづくり 認知機能向上アプリケーションの作成で感じたこと

独立型老健の超強化型への軌跡 ～その達成過程と継続戦略～

ノイエス 支援相談員 串田友佳・河野真広



近年、老健全体で施設区分に対する意識改革が進む中、ノイエスでは数年来「加算型」で推移し、当初は強化型を目指す考えがあまりありませんでした。その背景には、稼働率低下への懸念や「強化型は難しい」という先入観があったからだと思います。しかし、一度基本型へ区分を落としたことがきっかけとなり、危機感が生まれ、施設全体で現状を見直す機会となりました。施設長をはじめ多職種で協議を重ね、現状や課題を共有しながら超強化型を目指す方針を固めていきました。特に在宅復帰率の向上が大きな課題であり、そこを中心に議論を重ねた結果、現在では超強化型を維持できています。加算取得が目的化しないよう留意し、支援の質の向上の先に加算が伴うという意識を持つことが重要であり、今後も利用者・家族の生活を支える取り組みとして、施設全体で共通理解と継続的戦略を共有し、地域における在宅支援の中核を担ってまいります。

老健に『ミニ錦鯉』がやってきた！ ～慈しみと癒しの伝道師たち～

ノイエス 事務長 樋口 一也



人々への癒しや、ストレス、緊張感を和らげるアニマルセラピー効果。ノイエスではこれまでも、このような効果を求めながら、色々な動物を迎い入れてきました。

こうした経過の中、人懐っこく、施設内でも飼育が可能な「ミニ錦鯉」を飼ってみてはどうか、という話になりました。早速、水槽の設置場所や管理の方法、設置費用はいくらくらいかかるのかを検討し、5か月後、かわいい5尾の「ミニ錦鯉」が、ノイエスにやってきました。利用者さんからは、予想以上に大好評で、その感想を新聞に投稿いただくなど、施設としても嬉しい出来事となりました。

今回の大会では、この取り組みをとおり、高血圧の改善効果や認知症状の軽減効果について発表させていただきましたが、何より、癒しの効果が日々感じられること、「ミニ錦鯉」ありがとうという想いです。

優秀演題紹介

地域とつながる老健のチャレンジ！ ～施設イベントで広がる地域参加の輪～

ノイエス 理学療法士 武井 直哉



この度は優秀演題に選出して頂き、身に余る光栄とともに、これまで積み重ねてきた地道な取り組みが評価されたことに大きな励みとなりました。本発表では、HP・SNSを活用した情報発信、メディアとの連携、地域交流イベントの実施など、多方面に広がる地域活動の実践をまとめています。その多岐にわたる活動内容を一つのストーリーとして整理し、成果を過不足なく伝わる形に構築するためには、構成の練り直しや情報の取捨選択に苦労し、まさに試行錯誤の連続でした。それでも、入所者の方が「涙を流すほどの感動」を覚えた瞬間や、地域住民が自発的に参加の輪を広げていく姿を振り返ることで、地域とつながる老健の意義と可能性をあらためて強く実感できました。今回の受賞を新たな原動力とし、ノイエスは今後も地域住民の特技や趣味が自然に活かされる“開かれた老健”として、交流の場づくりと社会参加の推進に一層努めてまいります。

老健で薬を減らし、眠剤を無くそう！ ～きっといい事あるかも？～

ノイエス 看護師 小澤真寿美



ノイエスでは令和5年4月から「ポリファーマシー改善計画」、10月から「眠剤ゼロ計画」を実施した結果、様々なプラス効果をもたらしたことを報告させていただきました。75歳以上の高齢者の40%が5種類以上の薬を処方されているというデータがあります。当施設に入所される方も例外ではありません。ポリファーマシー改善の本質は「必要な薬だけを、その人の生活に合わせて服用する。」事です。減薬＝リスクではなく、減薬＝生活・健康の改善に繋がるアプローチだと思います。今回の取り組みで、午前中傾眠傾向だった利用者様に笑顔が増え活動的になった事と介助している介護士や薬の管理をしている看護師の負担軽減にもつながりました。今後も「ポリファーマシーの改善」「眠剤ゼロ」を継続して、利用者様のQOL向上を目指してまいります。

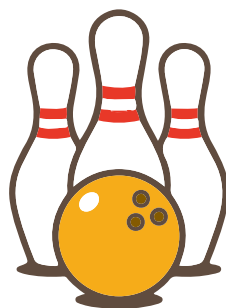
第5回 職員交流ボウリング大会開催

令和7年9月28日（日）中央市の大丸パークレーンズにおいて第5回ボウリング大会が開催されました。多くの施設が協力していただき今回は10施設24名が参加し、無事に大会を実施することができました。

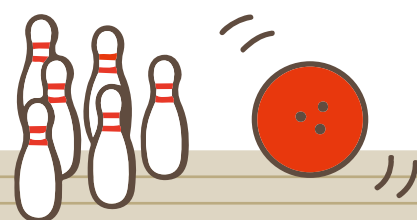
当日会場は、笑顔と歓声に包まれ大いに盛り上がりました。参加者の皆様はストライクやスペアが出るたびに拍手をし合い、和やかな雰囲気の中でお互いに声を掛け合いながらプレーを楽しんでいました。日頃の仕事の合間のよいリフレッシュとなり、他施設の職員との交流の場としても貴重な時間となりました。普段なかなか顔を合わせる機会の少ない他施設の職員同士がスポーツを通して語り合い励まし合う姿も印象的でした。参加者からは「久しぶりに体を動かして気持ち良かった。」「行くか迷ったけれど参加して良かった。」「他施設と交流できて良かった。」「楽しかった。あっという間に終わってしまった。あと1ゲームやりたかった。」との声が聞かれ、スポーツを通じた交流の大切さを改めて感じる大会となりました。

会場に駆けつけて下さった皆様、職員を送りだしていただいた施設の皆様に心より感謝申し上げます。皆様の温かいご協力とご尽力があったからこそ、笑顔あふれる大会となりました。本当にありがとうございました。

なお、大会の成績は下記のとおりです。参加された皆様、大変お疲れ様でした。



順位	男性の部	女性の部
1位	牧野 正道 さん (山梨ライフケア・ホーム)	芦澤 葉子 さん (ふじ苑)
2位	金丸 竜門 さん (玉穂ケアセンター)	窪田 永江 さん (しおかわ福寿の里)
3位	勝又 陽治 さん (ももくら)	三枝ひとみ さん (ふじ苑)



介護の魅力発信



【氏 名】
保 阪 想 太

【施設名】
NAC湯村

【経験年数】
6 年

1 介護を志すきっかけは何ですか??

中学生の頃から、将来は「誰かの力になれる仕事がしたい」という想いがありました。高校生のときに訪れた介護施設では、スタッフの皆さんの明るい笑顔と、利用者の方々の温かなまなざしが印象的で、「ここには人のやさしさがあふれている」と感じたのを覚えています。見学の最後、ある利用者のおじいさんが「君みたいな若い子が来てくれたら嬉しいな」と声をかけてくださいました。その一言は、まるで心の扉を開けてくれたようで、「私も介護の世界で誰かを支えたい」と強く思うきっかけになりました。あの日の言葉が、今の私をつくっています。

2 介護を行う上で大切にしている事は何ですか??

私が大切にしているのは、「寄り添う気持ちを絶対に手放さないこと」です。業務をこなすだけでは、心までは支えられません。利用者様の表情や声のトーン、小さな変化に気づけるかどうか。そこに、その人の「安心」を左右する大切なヒントが隠れています。「この方は何に困っているだろう?」「どうすればもっと安心して過ごせるだろう?」と考えながら、常にベストなケアを追求しています。「小さな気づきや声掛けが、その方の安心につながる」その想いで日々のケアに向き合っています。



3 あなたにとって、介護の魅力とは何ですか??

介護の魅力は、やはり「人と人がつながる瞬間」にあります。どんなに忙しい日でも、利用者様から「ありがとう」と声をかけていただけるだけで、心がふっと温くなり、「この仕事を選んでよかった」と思えます。——人の気持ちは、言葉ひとつで輝くことがある。そして、同じ目標を胸に働く仲間の存在も、この仕事を続ける大きな力です。多職種で支え合い、励まし合い、ときには悩みを共有しながら歩む毎日は、確かな成長につながっています。介護の仕事は、人を支えながら、自分もまた成長していける。そんな魅力に満ちた仕事だと思います。



【氏 名】
代 永 成 子

【施設名】
山梨ライフ
ケアホーム

【経験年数】
4 年

1 介護を志すきっかけは何ですか??

転職を考えた時、適職診断を受けました。どの診断にもその中には介護があり、介護の「か」の字も知らなかった私ですが人と関わっていたい、人の役に立ちたいと思っていました。そして幼少期から祖父母と暮らしていたのでとても身近な存在だったので勇気を出して飛び込んでみました。

2 介護を行う上で大切にしている事は何ですか??

笑顔!!
元気!!
コミュニケーション!!

3 あなたにとって、介護の魅力とは何ですか??

毎日同じようで違う事です。業務は同じでも、人との関わりなので毎日様々な会話が生まれます。些細な事を褒めてもらえたり、「ありがとう」感謝してもらえたり、少しボケたつもりでもシーンと静まり返ったり…(笑) 毎日違うからこそやりがいもあり、毎日新鮮に思っています。



【氏 名】
ス マ ッ シ ョ ン

【施設名】 はまなす

【経験年数】 6 年

1 介護を志すきっかけは何ですか??

もともとお年寄りと話ことが好きであり、介護の仕事が手に職をつけるし自分に向いていると感じたのが、介護を志すきっかけでした。

2 介護を行う上で大切にしている事は何ですか??

利用者様の安心と信頼関係を大切に考えています。利用者様の気持ちに寄り添い、信頼関係を築き、お互いに支え合うことで安心して毎日過ごせることが大事だと思います。

3 あなたにとって、介護の魅力とは何ですか??

人とのつながりです。「ありがとう」の言葉や笑顔から、私が人の役に立っていることができたなと喜びを感じます。利用者様の昔の話を聞いて、自分自身の成長も感じることができたと思います。



研修委員会

第28回山梨県介護老人保健施設大会 無事終了！

令和7年10月15日（水）、アピオ甲府タワー館において『第28回山梨県介護老人保健施設大会～やるじゃん山梨!! 介護で明るい未来の扉を開けよう～』が開催されました。

今年は、これまでとは会場が変わり、大会構成の在り方も大きく変化した大会となりましたが、老健関係者をはじめ、一般の方々も含めて230名を超える皆様にご参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

開会にあたって山梨県福祉保健部部長様よりご祝辞を頂戴し、午前の部では福田会長より「介護老人保健施設の理念と役割」についてのご講演をいただき、老健が担うべき役割や目指すべき方向性を再確認することが出来ました。また、午後の“記念講演”では「160km山岳マラソンから学ぶ 逆境こそ人生の原動力」と題して、トレイルランナーの鍋木毅様よりご講演をいただき、参加者の皆様からは「自分の生き方を考えるきっかけになった」、「前向きな気持ちになれた」という声が数多く聞かれ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

さらに、今大会で初めて、午前と午後の2部体制での開催となった“演題発表”については、県内22施設より29演題の発表がありました。どの施設の発表も大変素晴らしく、日々の業務の中から気づきを得て、様々な工夫を凝らし、より良いケアに繋げようと一生懸命に取り組まれている姿が印象的であり、そこには今回の大会タイトルにもある「明るい未来への扉」が確かに存在していたと感じております。

本大会の開催にあたり、福田会長をはじめ、大会運営にご尽力いただきました研修委員会の運営スタッフの皆様はもちろんのこと、ご参加いただきましたすべての皆様のご協力に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました！



広報委員会

広報委員会よりお知らせ

広報委員会では今年度新たな試みとして、広報誌を通し介護のやりがい等介護の魅力発信記事を掲載しております。介護の担い手が不足する中、この記事を通して介護を志してみよう！ 介護の勉強をしてみよう！という方が増える事を切に願っております。今回の広報誌にも掲載していますので是非ご覧ください。

また、やまなし老健ホームページ内にある持ち回りブログも内容盛り沢山で、非常に好評をいただいております。是非多くの方にご覧いただければと思います！



山梨県介護老人保健施設一覧

☎ : 電話 📠 : FAX ✉ : E-mail

1 峡北シルバーケアホーム 〒408-0023 北杜市長坂町渋沢907 ☎0551-32-6211 📠0551-32-6215 ✉kyohoku@crux.ocn.ne.jp	11 ケアセンターいちかわ 〒409-3601 西八代郡市川三郷町市川大門416 ☎055-272-5121 📠055-272-5131 ✉ci-jimu@kyonan-mc.jp	21 ふじ苑 〒406-0004 笛吹市春日居町小松855-6 ☎0553-26-5001 📠0553-26-3574 ✉fujien@hyper.ocn.ne.jp
2 しおかわ福寿の里 〒408-0114 北杜市須玉町藤田787 ☎0551-42-4604 📠0551-42-4101 ✉salt2910@poppy.ocn.ne.jp	12 ナーシングプラザ三珠 〒409-3612 西八代郡市川三郷町上野2968 ☎055-272-8611 📠055-272-8653 ✉momo6154@herb.ocn.ne.jp	22 いちのみやケアセンター 〒405-0076 笛吹市一宮町竹原田1255-1 ☎0553-47-4811 📠0553-47-4815 ✉icare777@oregano.ocn.ne.jp
3 フルリールむかわ 〒408-0307 北杜市武川町柳澤740-1 ☎0551-26-0111 📠0551-26-0112 ✉info@fluriru.com	13 サンビューふじかわ 〒400-0601 南巨摩郡富士川町鰍沢340-1 ☎0556-22-7301 📠0556-22-1665 ✉daihyou@kajikazawa.com	23 勝沼ナーシングセンター 〒409-1302 甲州市勝沼町菱山中平4300 ☎0553-44-5311 📠0553-44-5221 ✉knc@bird.ocn.ne.jp
4 あさひホーム 〒407-0045 韮崎市旭町上条中割473 ☎0551-23-3500 📠0551-23-3505 ✉asahikai@poem.ocn.ne.jp	14 峡南ケアホームいいとみ 〒409-3423 南巨摩郡身延町飯富1655 ☎0556-42-4314 📠0556-42-4331 ✉iitomi.ro-ken@gaea.ocn.ne.jp	24 恵信塩山ケアセンター 〒404-0042 甲州市塩山上於曽1195 ☎0553-33-3205 📠0553-33-3207 ✉keishin-n@ab.auone-net.jp
5 山梨ライフケア・ホーム 〒400-0111 甲斐市竜王新町2128 ☎055-279-4711 📠055-279-4713 ✉lifecare@bd.wakwak.com	15 甲府かわせみ苑 〒400-0802 甲府市横根町554 ☎055-222-2900 📠055-222-6600 ✉seishou@crux.ocn.ne.jp	25 はまなす 〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津6901 ☎0555-83-3285 📠0555-83-3286 ✉hamanasu@toranomon.or.jp
6 峡西老人保健センター 〒400-0405 南アルプス市下宮地421 ☎055-282-7000 📠055-282-7003 ✉careport@feel.ocn.ne.jp	16 甲府南ライフケアセンター 〒400-0851 甲府市住吉5-24-14 ☎055-241-3333 📠055-241-7564 ✉kofuminamilife@mx4.nns.ne.jp	26 白樺荘 〒403-0006 富士吉田市新屋1552-3 ☎0555-24-4211 📠0555-24-4212 ✉sirakaba@fgo.jp
7 ケアホーム花菱 〒400-0402 南アルプス市田島1105 ☎055-280-8700 📠055-280-8701 ✉hanabishi@isis.ocn.ne.jp	17 N A C 湯村 〒400-0073 甲府市湯村3-15-13 ☎055-253-2200 📠055-253-2203 ✉rouken@nac-yumura.com	27 山中湖あんずの森 〒401-0501 南都留郡山中湖村山中1069-3 ☎0555-63-2333 📠0555-62-9999 ✉yamanakakoanzunomori@juno.ocn.ne.jp
8 ひばり苑 〒409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰1277 ☎055-275-9511 📠055-275-9512 ✉hibari-office@takekawa-kai.or.jp	18 甲府相川ケアセンター 〒400-0003 甲府市塚原町359 ☎055-252-1600 📠055-252-1602 ✉aikawa@kashinokai.or.jp	28 つる 〒402-0056 都留市つる5-1-55 ☎0554-45-1813 📠0554-45-1006 ✉rouken@city.tsuru.lg.jp
9 ノイエス 〒409-3863 中巨摩郡昭和町河東中島443 ☎055-275-1165 📠055-275-1161 ✉neues@sage.ocn.ne.jp	19 フルリール甲府 〒400-0055 甲府市大津町1509-1 ☎055-244-0202 📠055-244-0033 ✉ootsu@ray.ocn.ne.jp	29 ももくら 〒409-0622 大月市七保町下和田2132-1 ☎0554-20-1111 📠0554-20-1119 ✉momokura@biscuit.ocn.ne.jp
10 玉穂ケアセンター 〒409-3812 中央市乙黒247-1 ☎055-273-7331 📠055-273-7360 ✉syojukai@yin.or.jp	20 甲州ケア・ホーム 〒406-0032 笛吹市石和町四日市場2031 ☎055-263-0242 📠055-263-2250 ✉carehome@krg.ne.jp	30 みのりの里 旭ヶ丘 〒409-0112 上野原市上野原7806 ☎0554-63-5800 📠0554-62-6006 ✉jimu@keifuu.or.jp

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会広報委員会
医療法人 恵信会 恵信塩山ケアセンター

〒404-0042
山梨県甲州市塩山上於曽1195
TEL 0553-33-3205 FAX 0553-33-3207
E-mail : keishin-n@ab.auone-net.jp